

**第 22 期 第 5 回 八尾市図書館協議会 会議概要**

日時 令和 4 年 3 月 9 日(水)

15 時 00 分～16 時 00 分

場所 八尾市立青少年センター集会室

出席者 (敬称略)

松井 純子	(大阪芸術大学教授)
高橋 敏博	(八尾市校長会)
二宮 久子	(八尾市社会教育委員会議)
西村 一夫	(元松原市民図書館長)
仙田 ひろ子	(大阪府立中央図書館 司書部長)
島上 智司	(大阪市立中央図書館 利用サービス担当課長)
稲垣 房子	(元奈良大学教授)
池田 多瑛	(公募市民委員)

欠席者 (敬称略)

江岡 信行	(八尾市青少年育成連絡協議会)
鍛冶 宏之	(八尾市 P T A 協議会)
喜多村 洋子	(公募市民委員)

事務局

田中 淳二	(教育委員会事務局 副教育長)
万代 辰司	(教育委員会事務局 次長)
松田 勝人	(生涯学習課長)
奥田 真美	(八尾図書館長)
仲谷 仁志	(山本図書館長)
小田 泰造	(志紀図書館長)
上原 康男	(生涯学習課長補佐)
仲谷 智子	(八尾図書館利用サービス係長)
吉位 計太	(八尾図書館資料係長)
小畑 由季	(八尾図書館司書)
松浦 明美	(山本図書館司書)
喜多 由美子	(志紀図書館司書)
中村 功	(龍華図書館長：指定管理者)
長谷川 麻優子	(龍華図書館 館長補佐：指定管理者)

## 1 副教育長挨拶

## 2 議題

### 「令和4年度 八尾市立図書館事業計画（案）について」

委員：市民に開かれた図書館における運営体制の整備・充実というところで、「ウィズコロナの時代に対応した新たな図書館サービスの提供に取り組みます」とあるが、具体的にどのようなサービスを検討されているか。

事務局：現状の取組みとして、貸出冊数の引き上げや貸出期間の延長を行ったり、自動消毒器付き体温測定器や図書除菌機を設置したりしている。令和4年度においては、対面朗読サービスにおけるWEBサービスの導入を検討している。おはなし会も現在は休止しているが、この状況下で何かできることがないか、引き続き、検討を続けていく。また、来館していただかなくても活用できるインターネットサービスの利用案内をホームページに掲載したいと考えている。

委員：市民の生活に役立つ情報拠点としての図書館として、レファレンスサービスの質の向上ということで、「レファレンスカウンターの利用しやすい環境づくりに努めます。」とあるが、具体的にどのようなものと考えているか。また、「山本・志紀図書館の指定管理者制度の導入について、引き続き検討します。」とあるが、何らかの検討組織のようなものが、もうすでに立ち上がっているのか。さらに、令和4年度予算審議中で時期的に難しいと思うが、令和4年度の新たな取組みとして、こういうものを予定しているというようなものを可能な範囲でお話をいただきたい。

事務局：八尾図書館で申し上げるとレファレンスカウンターが2階でわかりにくいというところもあり、利用者のご意見等も参考にしながら、基本的なことではあるが、サイン等でわかりやすくするというのを考えている。次に、山本・志紀図書館の指定管理者制度の導入については、教育委員会と市長部局の間で検討しているところであり、現在はまだ結論に至っていない。令和4年度の取組みとしては、旧八尾図書館の解体工事を予定しているところである。

委員：貸出・予約サービスの充実として、貸出冊数の上限を10冊から15冊に増やしているが、さらに増やすということか。上限冊数を増やした場合の効果について教えていただきたい。もう1点、移動図書館車の盛夏時の巡回時間変更の影響はどのようなものがあったか。

事務局：来館頻度を減らしつつ、図書に触れあって欲しいということで貸出冊数の上限を引き上げたが、来館頻度について効果があったかは不明である。貸出冊数については伸びており、特に夏季の児童書の貸し出しの割合がかなり増えたというのが実感としてある。移動図書館については、気温が午前中のほうが低いということで、職員の体調の面において効果があったということが一つある。また、普段の時間では来られない方や、知らない方にも知ってもらえたという

ご意見もいただいている。その反面、移動図書館というのは高齢者の方の利用が多いが、高齢者の方は午前中に医療機関を受診される方が多く、午前中だと移動図書館に行けないというご意見もあった。また、午前中が午後に比べて時間が短いので、一つのステーションにおける滞在時間が短くなったということが反省点としてある。この点、朝の準備をもう少し早くして、出発の時間を早められれば滞在時間を延ばせるのではないかという職員からの提案もあったので、令和4年度に実施する場合には、そういうことも踏まえて実施していきたい。

委員：市民の生活に役立つ情報拠点としての図書館として、「地域のまちづくり活動に関する情報の収集や提供を行う」とあるが、これは市役所にあるような、まちづくり協議会等のラックのことをさすのか。

事務局：市役所にあるようなラックが図書館の1階ロビーにも設置されており、まちづくり協議会や福祉委員会等の地域で作られた広報紙を置くことにより、市民の方々に情報提供をさせていただいている。

委員：読書活動ボランティア及び市立図書館の「おはなし会」の実施回数が令和2年度0回ということで、本当に寂しいなと思っている。この土曜日にする予定だったものも中止となった。他の自治体では「おはなし会」を実施しているところもあり、パネルを置いたり、人と人との距離を取ったり、換気をしたりするなど、感染症対策を講じたうえで、おはなし会を実施させていただいた。八尾市では、令和2年度からずっとこういった状況が続いているので、おはなし会をしないという決断の前に、どのようにすれば実施できるかという方向で何かしら手だてがないのか考えていただきたい。

事務局：八尾市立図書館としてもおはなし会等のサービスを続けたいという思いはあるが、特に令和4年1月からのまん延防止等重点措置が適用された当初については、子どもへの感染力が強いというところを第一に懸念したところである。また、秋におはなし会を再開したときには、小さいお子さんは興味がある方に近づくということがあり、どうしても話し手との距離が近くなってしまい、どうしたらよいかいろいろ考えていたところである。今後、ウィズコロナ時代にどうしていくかということ令和4年度にも検討するが、委員からのご意見をいただいたので、おはなし会等のサービスを続けられるよう、模索していく。

委員：大阪市では、参加者の人数を半分ということと、参加者同士の距離を空けるという形で行っている。ただし、通常よりも回数は随分減っている。基本的には感染対策をしながら、サービスの提供を続けていく予定である。

委員：大阪府もおはなし会はほとんど中止している。実施する場合も、従来であれば、子ども資料室にあるおはなしのへやを使っていたが、換気的面で問題があっ

たので、現在はオープンスペースを使っている。また、紙芝居の実演をしたが、紙芝居をされる方とその前に座る子どもたちや大人との間に、大きめの透明のパーテーションを設けたりしている。サービスの提供にあたり苦慮しているところである。

委員：八尾市はまちづくりの活動が活発で、大阪府のホームページにも八尾市の活発な活動が掲載されている。図書館としても、地域の役立つ情報を収集し、発信するということなので、とても期待している。また、今日も八尾図書館の中をみてきたが、令和2年度に比べて、図書館の利用を促す展示やヤングアダルトの棚も増えており、図書館としての積極性が感じられる。ひとつ確認だが、「オンラインデータベース（新聞・法令）の提供を行う」とあるが、予算要求したということか。

事務局：オンラインデータベースについて、引き続きサービスを提供していきたいということで、予算を要求している。

委員：図書館が提供している信頼性の高い有料データベースを知らない方もいると思われるので、役に立つということをイベント等で周知をしていただきたい。また、例年7月に、図書館事業の報告をお配りいただいているが、ホームページ等で公開されているか。

事務局：現在、情報公開室にて公開しているが、令和4年度からはホームページ上にも掲載する方向で考えている。

委員：今の社会ではネットに出てこないという無くなることになってしまう。他府県から同じ人口規模の図書館を見た時に、これだけ頑張っている八尾市の情報が見えてこないと思うので、ぜひ公開をお願いします。

### 3 報告

#### 「新型コロナウイルス感染症に関する対応について」

委員：対面朗読の再開はオンラインという形式もあるのか。

事務局：現在はオンラインでの対面朗読はしていないが、令和4年度に向けて取り組んでいきたいと考えている。

委員：それは利用者からの要望か、図書館としての改善努力ということか。

事務局：バリアフリー法が施行されたこともあり、障がい者サービスについては充実していきたいと考えている。現時点で要望があるというわけではないが、今後取り組んでいきたいと思っている。

委員：利用者が有効に活用できるよう機械等のサポートもする等、利用者の目線でサービスの提供をしていただきたい。

委員：現在、貸し出し冊数の上限を上げたり、貸出期間を延長したりしているが、これは3月21日までの限定ということか。また、貸出期間が4週間になると予

約本は倍の時間がかかることになるが、それも含めて全部4週間になっているのか。

事務局：貸し出し冊数の上限の引き上げと貸出期間の延長については、まん延防止の適用期間のみの予定である。また、予約本の貸出期間延長についてはよく検討したが、感染状況がかなり拡大していたので、やはり来館頻度を減らさないといけないということで、予約本も含め、一律4週間とした。

#### 4 その他

委員：今年度、絵の本ひろばについて、養成講座を開催したり、福祉施設で実施したりしてきた。今後は、学校と連携をしながら取組みを進めていけたらと考えている。